

探訪 チャレンジ企業 18

未来志向の事業意欲 日高グループ：志賀町



事業主の真価と企業

企業は事業主の器量によって決まる。企業を取り巻く環境が厳しければ厳しいほど、事業主の器量は真価を發揮し、企業は力強くチャレンジの道を進んで行く。そこには事業主の前向き思考が、新技術を生み、新製品を開発し、新事業を創造して行くことになる。一般に不況になると守勢をとる企業が多いが、ここに取り上げる志賀町の日高グループは、未来指向の典型的チャレンジ企業である。

日高グループの概要

日高グループは、各種木工機械・アルミ加工機、半導体製作機械、各種産業機械、特種専門機械等の設計、製造、販売をしている日高機械を中心に、各種木工機械及びNC諸機械の設計、製造、販売の株式会社田辺鉄工所、及び各種木工機械の販売の株式会社



木工機械、軽金属加工機械から風力発電装置までの製造・販売会社を経営する日高代表取締役

田鶴浜マシニングウッドでもって構成されている。この日高グループが何故チャレンジ企業かといえば、このグループが製造販売する機械に規格品は一つもなく、総て依頼主の意見を尊重し要望に沿ったオリジナルな機械設備を製造しているからである。即ち受注内容が一つ一つ異なることから、受注段階の企画から設計製造等、すべて開発の連続となるからである。

開発の原動力と特色

この見事な連続的開発の原動力は、日高グループの代表者日高明正さんの「人の真似は絶対しない」という信念と逆発想による問題解決策の実行にある。従って常人の及ばぬ技術が常に展開され蓄積されていく。その一つに各機械に設置するコンピュータ



この巨大な機械も自社発電（左図）で移動しているためコストがかからない。

は、ハード・ソフト共に自社製であり、大手専門メーカーが製造するコンピュータを全く頼っていない。そのため、目的に沿う効率的で操作のし易い機械となり、中小企業にとつて手頃な価格となるのである。

新規事業の取り組み

現在取り組んでいる挑戦は、風力発電と間伐材を利用した生分解材成型物「りんき」である。共に地球環境を大切にするという理念が活かされており、風力発電は、元内灘高校の校長先生の持つ特許を実用化するもので、既に第一号を日高機械の工場用地に完成し、今後大いに期待が持てるものであり、「りんき」は今後非常に多く産出される間伐材の徹底的な有効利用と環境循環（森林から育った木は森林に戻す）という見地から、木材を主原料に生分解性樹脂を接合剤にした成型可能な各種容器や、表面保護の特性を活かした集材材等の製造に新分野を開くものである。

むすび

能登の地で、毎年石川ブランドに値する機械が開発されているのは、グループの代表者である日高明正さんの経営者としての思考・姿勢と強烈な個性によるものである。このグループは、全くもって石川県の誇りであり、発展が期待できる企業グループである。心から拍手をおくりたい。（お問い合わせ）

日高グループ

日高機械
〒九二五 〇二二一
石川県羽咋郡志賀町徳田
TEL 〇七七 三七 一三一一
FAX 〇七七 三七 一五五八
(株)田辺鉄工所
〒九二〇 〇八四四
石川県金沢市小橋町五 三五
TEL 〇七六 一五二 〇二四
(株)田鶴浜マシニングウッド
〒九二九 一三一六
石川県鹿島郡田鶴浜町吉田
TEL 〇七七 六八 六六六六
FAX 〇七七 六八 六三三三

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会をお訪ねください。

今年11月1日は
商工会法
施行四十周年
の年です。

新しい時代への飛躍に向けて
企業の明日を応援します。